



2024年5月15日

各 位

会 社 名 福山通運株式会社

代 表 者 取締役社長執行役員 小丸 成洋

(コード番号 9075 東証プライム市場)

問合せ先 社長室 広報・IR室長 安藤 正憲

(TEL.084 - 924 - 2000)

(訂正)「2024年3月期決算補足説明資料」の一部訂正について

2024年5月15日に開示いたしました「2024年3月期決算補足説明資料」につきまして、一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

「2024年3月期決算補足説明資料」 P6 6. 運行便指標の推移

ダブル連結トラック輸送能力と運行者の削減率を示すグラフについて、期間に誤りがありましたので訂正いたします。

2. 訂正の内容

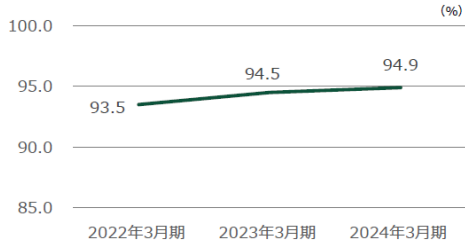
別紙をご参照ください。訂正箇所は赤枠を付して表示しております。

(訂正前)

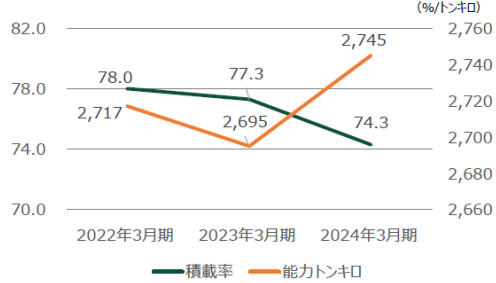
6. 運行便指標の推移



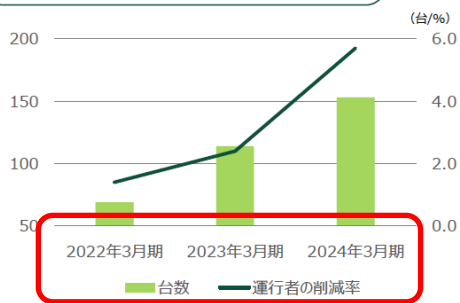
運行便自社化率



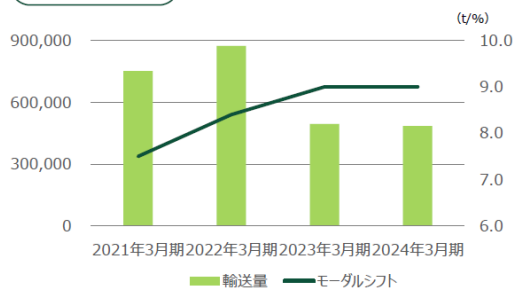
運行便積載率



ダブル連結トラック輸送能力と運行者の削減率



モーダルシフト率



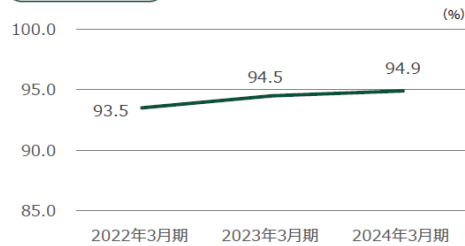
All Right Reserved. Copyright©2024 Fukuyama Transporting Co., Ltd.

(訂正後)

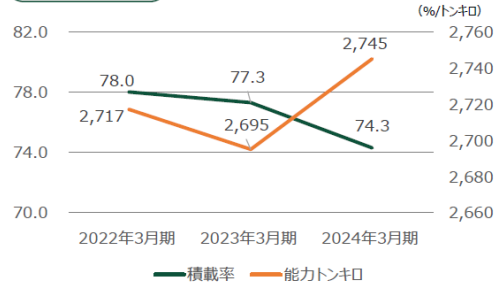
6. 運行便指標の推移



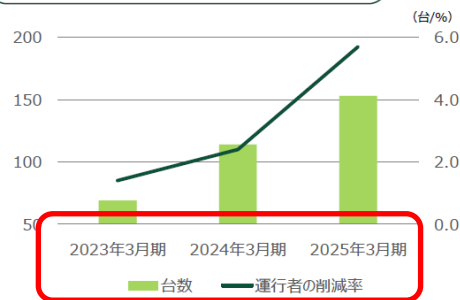
運行便自社化率



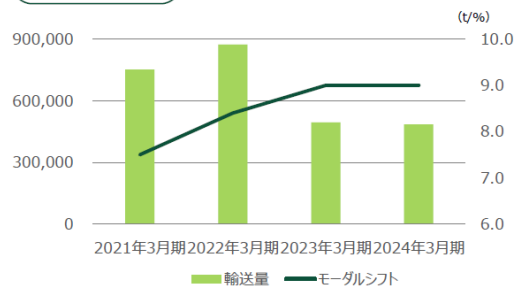
運行便積載率



ダブル連結トラック輸送能力と運行者の削減率



モーダルシフト率



All Right Reserved. Copyright©2024 Fukuyama Transporting Co., Ltd.

以上

2024年3月期 決算補足説明資料

福山通運株式会社
(東証プライム市場 9075)

2024年5月15日



1.連結業績

- 売上高 : 【運送事業】輸送量が前年を下回り減少
【流通加工事業】単価改善を進めるものの取扱量が減少
【国際事業】海上運賃の下落により減少
【その他事業】新規連結により工事収入が増加、国内外の団体旅行の回復により商品販売収入が増加
- 営業費用 : 2024年問題への対策強化により外注費が増加
- 営業利益 : 主力である運送事業の売上高の減少と人件費・物件費の増加により減少

(単位:百万円/%)

項目	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
売上高	293,358	287,563	△5,795	98.0
営業費用	271,983	277,115	5,131	101.9
営業利益 (営業利益率)	21,375 (7.3)	10,448 (3.6)	△10,926	48.9
経常利益 (経常利益率)	22,985 (7.8)	12,973 (4.5)	△10,012	56.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,791	7,834	△12,956	37.7

2. 営業費用

- 人件費 : 2024年問題対応の荷役分離などにより外注人件費が増加
- 物件費 : 輸送力確保のため集配備車費が増加、施設の老朽化対応により修繕費が増加
- 諸費 : 海上運賃の下落により国際関係費用が減少
- 減価償却費 : 車両の更新が進み増加

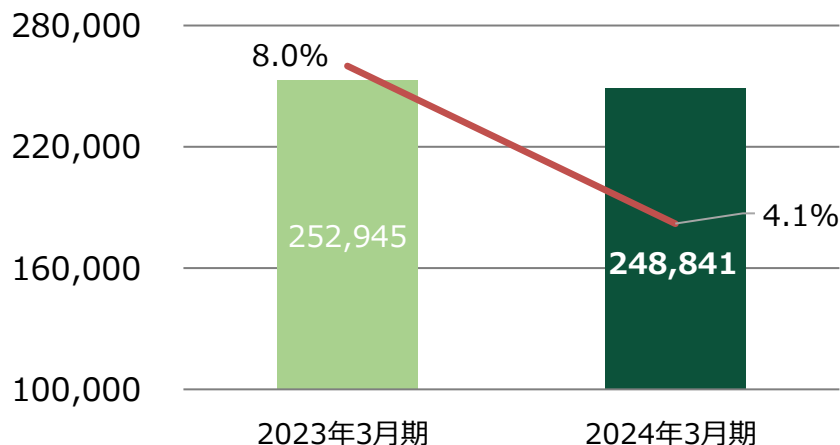
(単位: 百万円/%)

項目	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
人件費	129,068	132,036	2,968	102.3
物件費	94,884	97,925	3,040	103.2
諸費	32,933	31,555	△1,377	95.8
減価償却費	15,097	15,597	500	103.3
営業費用	271,983	277,115	5,131	101.9

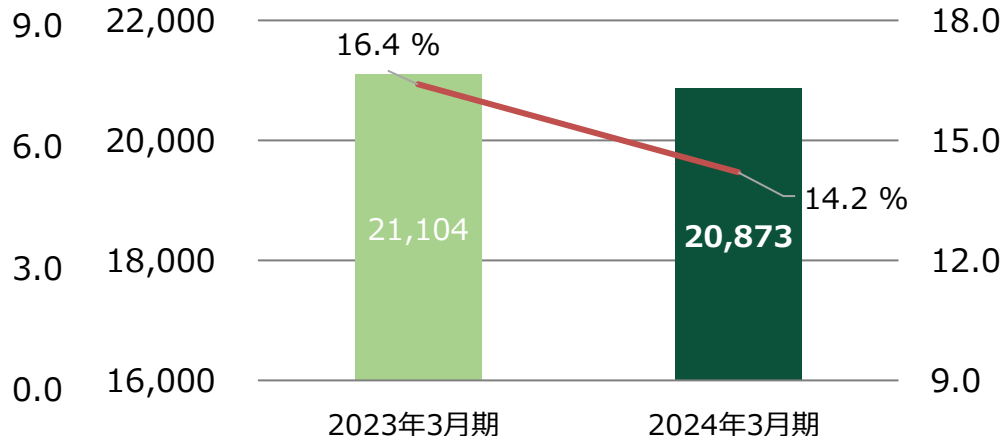
3.事業別売上高と利益率

(単位：百万円/%)

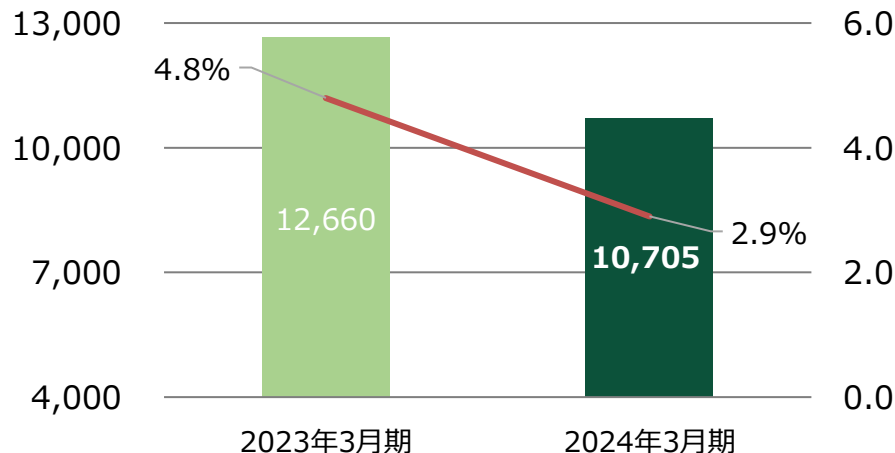
運送事業



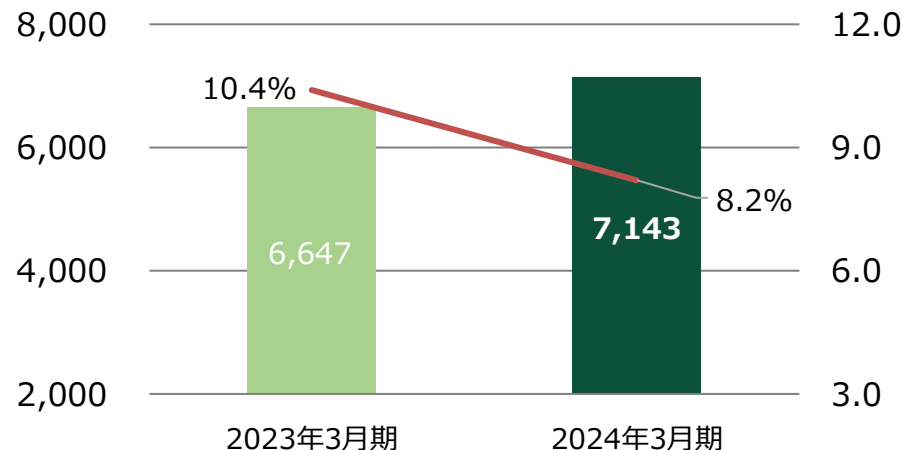
流通加工事業



国際事業



その他事業



売上高 利益率

4. 運賃是正と顧客構造改革

輸送 4 要素

(前期比/単位：%)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価
小口貨物	99.1	100.0	99.6
商業小口	99.5	100.0	100.0
商業貨物	100.7	100.1	100.7
重厚長大	100.7	100.7	100.4
全体	100.0	100.1	100.1

運賃占有率

	2023年3月期	2024年3月期
小口貨物	28.5	28.3
商業小口	24.4	24.4
商業貨物	22.7	22.8
重厚長大	24.4	24.5

重量占有率

	2023年3月期	2024年3月期
小口貨物	18.8	18.8
商業小口	23.6	23.5
商業貨物	27.0	27.0
重厚長大	30.6	30.7

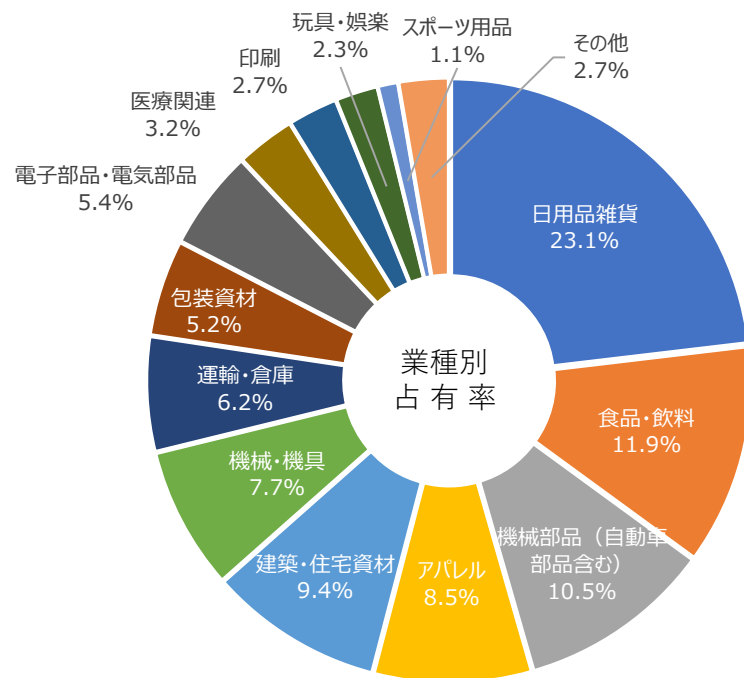
* 当社の荷物分類定義

小口貨物：1件1個30kg以下 商業貨物：1件6個121kg以上

商業小口：1件5個120kg以下 重厚長大：1個100kg以上または1件500kg以上

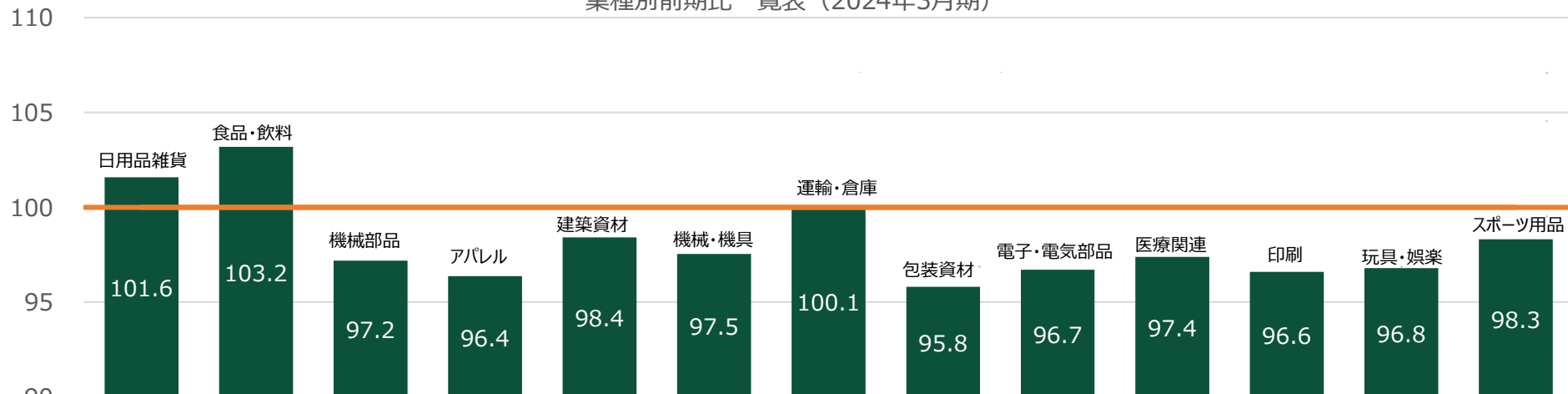
5.業種別傾向

- ・消費関連貨物が引き続き好調、生産関連貨物は資材の高騰もあり減少
- ・主力の日用品、食品関係は、新型コロナ流行が落ち着いたこともあり増加
- ・機械部品や機械・器具に関しても、物価高の影響により減少



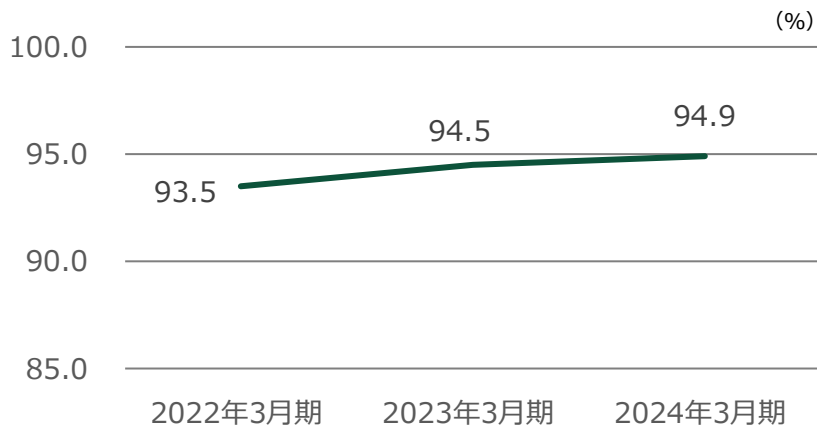
業種別前期比一覧表 (2024年3月期)

(%)

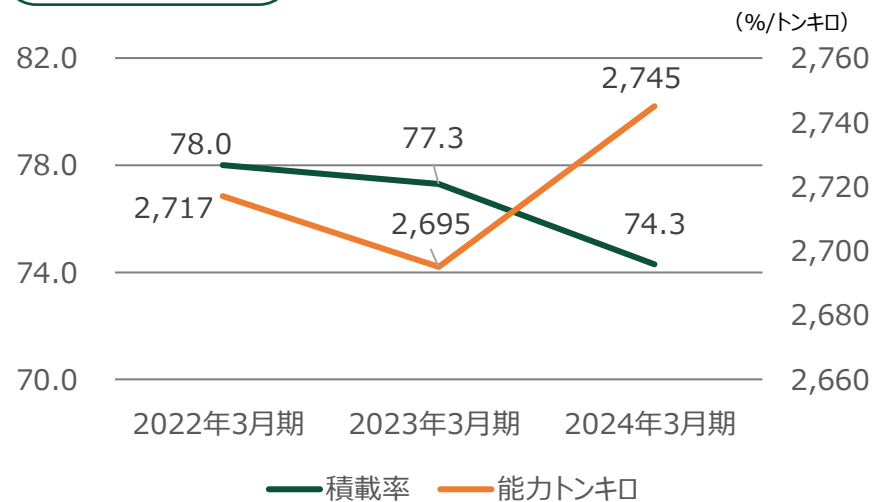


6. 運行便指標の推移

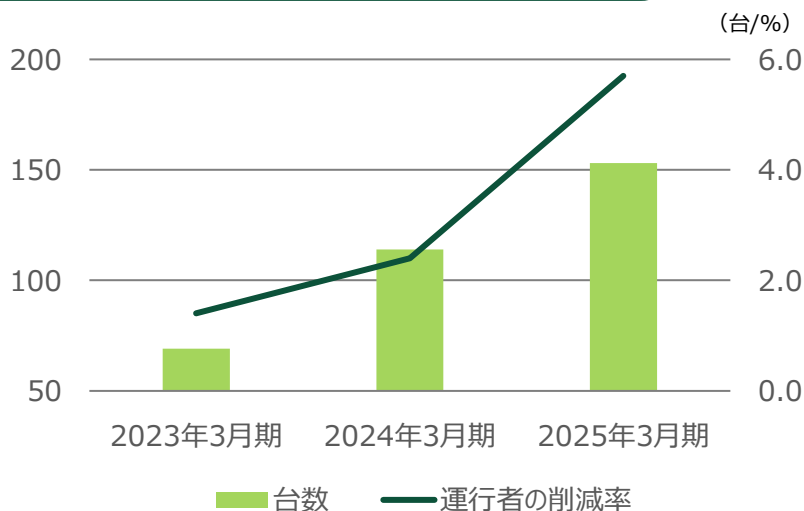
運行便自社化率



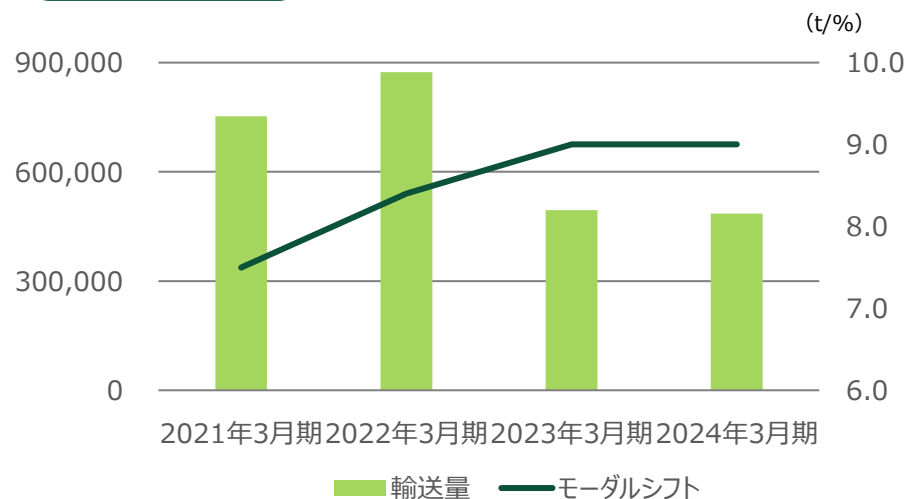
運行便積載率



ダブル連結トラック輸送能力と運行者の削減率



モーダルシフト率



7.2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円/%)

項目	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想	前期比
売上高	287,563	301,300	104.8
営業利益 (営業利益率)	10,448 (3.6)	12,000 (4.0)	114.9
経常利益 (経常利益率)	12,973 (4.5)	13,500 (4.5)	104.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,834	11,300	144.2



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。
将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。
投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。